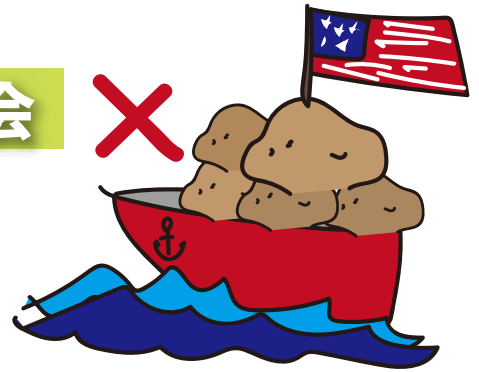




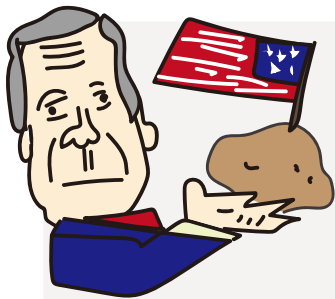
食と農を守る 農民連 緊急学習会



わたしたちの

“じゃがいも” はどうなる？

輸入解禁の危険とねらい

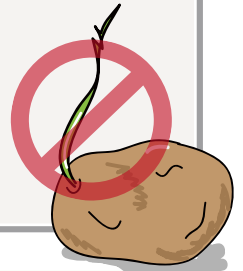


日本のじゃがいも産地を壊滅させる危険も一

米国産生食用ジャガイモの輸入解禁へ向けた手続きが進んでいることに、生産者や消費者から怒りの声が上がっています。生ジャガイモは、産地を全滅させかねない「シストセンチュウ」などの病害虫被害のリスクが高いことから、現在はポテトチップス用など、厳しい検疫条件に則り輸入されています。

アメリカはこれまで、生食用ジャガイモの一般向け輸入を日本に強く要請してきましたが、反対の声が多く、実現には至っていません。

生食用ジャガイモの輸入解禁の危険とアメリカの狙いを深める学習会を開催します。ぜひご参加ください。



基調報告

農民連
食品分析センター

八田 純人 所長



生産現場から

北海道 じゃがいも農家
小清水農民組合

大沢 稔 さん



2026年

9月 10日 (木)

19:00 ~ 20:00

参加無料 | 事前申し込み不要

オンライン (ZOOM) 開催

ID : 813 8324 7625
パス : 686234

事前質問はメール又はFAXにてお願いします

E-mail : info@nouminren.ne.jp

FAX : 03-5966-2226

主催：農民運動全国連合会（農民連）
農民連ふるさとネットワーク

〒173-0025 東京都板橋区熊野町 47-11 社医研センター 2 階
TEL : 03-5966-2224 Mail : info@nouminren.ne.jp

新聞「農民」
秋季号外